

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2014年11月4日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

医系の統計入門(第2版)

正誤対象

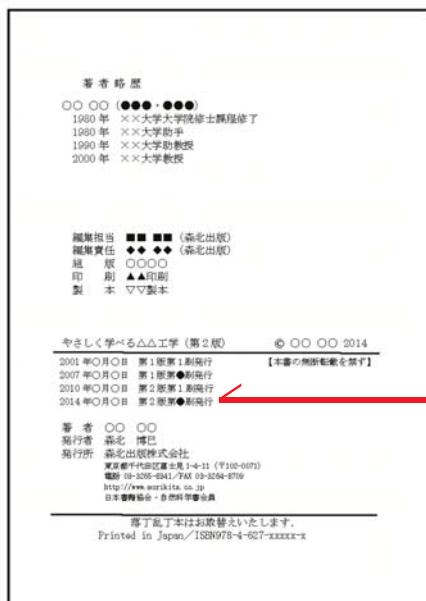
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1 刷	対応刷数 1 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正																														
1	34	練習問題 3.2 (1)	<table border="1"> <tr> <td>番号 i</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>変数 X</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>変数 Y</td> <td>-8</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table>	番号 i	1	2	3	4	変数 X	1	3	6	10	変数 Y	-8	3	2	5	<table border="1"> <tr> <td>番号 i</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>変数 X</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>変数 Y</td> <td>-8</td> <td>-3</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table>	番号 i	1	2	3	4	変数 X	1	3	6	10	変数 Y	-8	-3	2	5
番号 i	1	2	3	4																														
変数 X	1	3	6	10																														
変数 Y	-8	3	2	5																														
番号 i	1	2	3	4																														
変数 X	1	3	6	10																														
変数 Y	-8	-3	2	5																														
1	41	5 行目	あることに注意すると, 次のように $P(A B)$ を求めることができる.	あるので, 次のように $P(B A)=15/35$ から $P(A B)$ を求めることができる.																														
1	76	図 5.4		\bar{X} の分布 $\rightarrow X$ の分布																														
1	92	図 6.3 右下部	$\chi_0^2 = \frac{n(ad - bc + \frac{1}{2}n)^2}{(a+b)(c+d)(a+c)(b+d)}$ $\chi_0^2 = \frac{n(ad - bc - \frac{1}{2}n)^2}{(a+b)(c+d)(a+c)(b+d)}$	$\chi_0^2 = \frac{n(ad - bc - \frac{1}{2}n)^2}{(a+b)(c+d)(a+c)(b+d)}$																														
1	103	図 6.8(b)		性別・年齢などの属性を一致させたペア																														

1	117	図 6.16 右上部																		
1	117	図 6.16 下部		<p>2箇所 $NO(H_1: \mu > \mu_0) \rightarrow NO(H_1: \mu_1 > \mu_2)$</p>																
1	118	図 6.17	<table border="1"> <thead> <tr> <th>被検者 (番号)</th> <th>食前 X 1回目の採血</th> <th>食前 Y 2回目の採血</th> <th>Y - X</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	被検者 (番号)	食前 X 1回目の採血	食前 Y 2回目の採血	Y - X					<table border="1"> <thead> <tr> <th>被検者 (番号)</th> <th>食前 X 1回目の採血</th> <th>食後 Y 2回目の採血</th> <th>Y - X</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	被検者 (番号)	食前 X 1回目の採血	食後 Y 2回目の採血	Y - X				
被検者 (番号)	食前 X 1回目の採血	食前 Y 2回目の採血	Y - X																	
被検者 (番号)	食前 X 1回目の採血	食後 Y 2回目の採血	Y - X																	
1	136	例題 7.3 11~13 行目	$y = 2.7764 \times \sqrt{\frac{0.445}{4}} \doteq 0.93$ となる。信頼下限 $\bar{x} - y \doteq 9.4$ ，信頼上限 $\bar{x} + y \doteq 11.2$ であるから，求める信頼区間は $[9.4, 11.2]$ である。	$y = 2.7764 \times \sqrt{\frac{0.445}{5}} \doteq 0.83$ となる。信頼下限 $\bar{x} - y \doteq 9.5$ ，信頼上限 $\bar{x} + y \doteq 11.1$ であるから，求める信頼区間は $[9.5, 11.1]$ である。																
1	136	例題 7.3 18~20 行目	$y = 4.6041 \times \sqrt{\frac{0.445}{4}} \doteq 1.54$ となる。信頼下限 $\bar{x} - y \doteq 8.8$ ，信頼上限 $\bar{x} + y \doteq 11.8$ であるから，求める信頼区間は $[8.8, 11.8]$ である。	$y = 4.6041 \times \sqrt{\frac{0.445}{5}} \doteq 1.37$ となる。信頼下限 $\bar{x} - y \doteq 8.9$ ，信頼上限 $\bar{x} + y \doteq 11.7$ であるから，求める信頼区間は $[8.9, 11.7]$ である。																
1	140	8 行目	t に関する恒等式 $(q + pt)^n = \sum_{x=0}^n {}_n C_x q^{n-x} P^x t^x$ において，	t に関する恒等式 $(q + pt)^n = \sum_{x=0}^n {}_n C_x q^{n-x} p^x t^x$ において，																

1	156	3行目	実際には標本平均の観測値 \bar{x} を代入する形で示すことが多い.	実際には標本統計量の観測値 \bar{x} と s'^2 を代入する形で示すことが多い.
1	158	9行目	分子 = $5 \times (-62) - 5 \times 0 = 310$ であるから, $b \doteq 0.8158$ となる.	分子 = $5 \times (-62) - 5 \times 0 = -310$ であるから, $b \doteq -0.8158$ となる.
1	158	最下行	$\doteq 0.162$	$\doteq 0.0162$

2014.11 作成